

右近ギャラリー 拡張

「まいどさん」牧師・奈良さん

金沢で26年間過ごしたキリシタン大名・高山右近にひかれ、足跡を伝えている牧師、奈良献児さん(58)「つつじが丘」は、小將町で開く私設ギャラリーを拡張する。観光ボランティアガイド「まいどさん」でもある奈良さんは、右近の「福者」認定を機に、功績や金沢に与えた影響を来場者に伝え、節目の年を祝う。

「福者」認定を機に

金沢に与えた影響紹介



奈良さんは2013年6

月、兼六園近くの民家でギャラリー・ジュストを開いた。「ジュスト」は右近の洗礼名で、「正義の人」を意味する。右近の生涯や、ゆかりの地のパネルを並べた8畳一間のギャラリー

高山右近(1552~1615年) 織田信長、豊臣秀吉に重用された戦国武将。有力なキリシタン大名でもあり、信仰を貫き通し、秀吉から大名の地位を奪われた後、前田家に招かれた。金沢城の惣構(そうがまえ)建設などに当たった。徳川家康によって国外追放となり、1615(慶長20)年2月、マニラで没した。

「ギャラリー・ジュスト」で拡張の準備を進める奈良さん

小將町

で、これまでに約1500人が訪れた。

今年1月、カトリック教会は右近を同教会の最高位

「聖人」に次ぐ「福者」に認定したと発表した。奈良

さんは宗派の異なるプロテスタント教会の牧師だが、

「福者認定を契機に、設計に右近の思いが根付いた金

沢城や金沢の町が、海外から注目を集めるのではない

か」と、宗派を超えた展示の意義を語る。

奈良さんは、現在は物置

となっている2階の一室もギャラリーに改装する。ギャラリー3周年を迎える6月をめどに完成させる。

新たなスペースでは、右近が金沢で過ごした当時の文化や、グレゴリオ聖歌などの音楽についてのパネルを展示する。

奈良さんは「右近が金沢の人々や当時の街づくりに及ぼした影響は大きい。より多くの人に業績を知ってもらいたい」と語

った。